

令和4年度 新潟市巻ふれあい福祉センター管理運営事業収支決算書

収 入

単位:円

勘定科目		予算額	決算額	差額
大	中			
受託金収入		15,527,000	15,757,564	△230,564
	市受託金収入	15,527,000	15,757,564	△230,564
経常収入計(1)		15,527,000	15,757,564	△230,564

支 出

勘定科目		予算額	決算額	差額
大	中			
人件費支出		1,715,000	1,717,554	△ 2,554
	賃 金	1,702,000	1,712,643	△ 10,643
	法定福利費	13,000	4,911	8,089
事務費支出		0	0	0
	福利厚生費	0	0	0
事業費支出		13,812,000	14,040,010	△ 228,010
	被服費	24,000	0	24,000
	水道光熱水費	5,199,000	6,338,856	△ 1,139,856
	燃料費	3,000	0	3,000
	消耗器具備品費	666,000	272,723	393,277
	賃借料	162,000	165,384	△ 3,384
	印刷製本費	60,000	0	60,000
	修繕費	400,000	69,850	330,150
	通信運搬費	235,000	224,370	10,630
	業務委託費	5,562,000	5,497,947	64,053
	手数料	119,000	118,690	310
	租税公課	197,000	167,820	29,180
	保守料	1,185,000	1,184,370	630
経常支出計(2)		15,527,000	15,757,564	△ 230,564
経常活動収支差額(1)-(2)		0	0	0

上記、令和4年度 新潟市巻ふれあい福祉センター管理運営事業収支決算書に相違ありません。

令和5年4月1日

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
会長 井浦正弘

令和4年度 自主事業報告書（施設名：巻ふれあい福祉センター）

事業名	障がい者生きがい活動支援事業
<p>【視覚障がい者パソコン教室】</p> <p>(1) 実施状況(実施日時・利用人数等) 令和4年4月～令和4年12月 毎月第2・4 木曜日 午前9:45～11:45 4/14、28 5/12、26 6/9、23 7/14、28 8/4、25 9/8、22 10/13、27 11/10、24 12/8、22 <u>合計18回</u> (視覚障がい者・ボランティア・新潟大学学生等が参加) 総参加者数 249 名</p> <p>(2)実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者の情報交換の場 ・音声パソコンの技術習得 ・小、中学校等への福祉教育講師 <p>(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応</p> <p>視覚障がい者の交流の場として集う場所があることで、毎回楽しみにしている声が多く、出かける機会が増えることで生きがいを感じ、自立支援に繋がっている。</p> <p>また、地域の方、新潟大学学生がボランティアとして参加している為、世代を超えた交流となっている。</p> <p>さらに、視覚障がい者の情報収集のツールの一つである音声パソコンの技術を高めることで、必要な情報を得る手段が格段と広がっている。</p> <p>また今年度は大橋代表が「障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰」を受賞、地元の新聞社や区の広報より取材を受け、大きく記事にとりあげてもらった。その記事を読んだ方から、教室に参加したいという問合せも受けている。</p> <p>今後も本事業を続けていきたいと思っている。</p>	
<p>【にしかん・障がい者作品展】</p> <p>(1) 実施状況(実施日時・利用人数等) 令和4年2月3日(金)～3月17日(金) 8:30～17:15 50日間 総参加者数 1,600 名</p> <p>(2)実施内容</p> <p>西蒲区内の障がい者施設で制作された作品を巻ふれあい福祉センターに展示し、センターを訪れる多くの市民に見て触れて知っていただくことで、多様性の受け入れや、地域共生</p>	

社会の実現に向けた取組みの理解につなげることを目的として、今年で3回目となる「にしかん・障がい者作品展」を開催した。

(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応

各施設から作品を持ち込んでいただき、施設の職員やボランティア市民活動センター運営委員、福祉活動応援協力員にお手伝いいただき、展示作業を行った。

普段は福祉関係者しか訪れることのない巻ふれあい福祉センターだが、毎年この時期は確定申告の会場となっているため、手続きに来られた多くの方々が足を止めて作品を鑑賞して下さった。

またコロナ禍で行事等の中止はまだまだ続いており、利用者の作品を披露できる場がないことから、施設職員や利用者のモチベーションの向上につながっていると考えられる。

(4) 収支決算

支出 消耗品費 0 円

合計 0 円